



高温登熟障害に強い品種の選定

「西海259号」や「にこまる」は、高温で登熟しても玄米品質の低下が小さく多収であり、県南部の主要品種「ヒノヒカリ」に代わる品種として有望視しています。

高温で登熟した「ヒノヒカリ」は胚の近くや背側が白濁して品質が低下する



西海259号

ヒノヒカリ

にこまる

西海259号

「ヒノヒカリ」と比較して

にこまる

- 出穂期，成熟期は同じ
- 短稈で栽培しやすい
- 多収
- 千粒重大きく品質良
- 良食味

- 成熟期は3～7日遅い
- 稈長同程度
- 多収
- 千粒重大きく品質良
- 良食味

品種・系統名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	精玄米重		千粒重 (g)	整粒率 (%)
				(kg/a)	対比(%)		
西海259号	8.19	9.29	80	61.4	108	23.4	79.9
にこまる	8.23	10.04	86	61.6	108	23.3	84.8
ヒノヒカリ	8.19	9.27	86	56.8	100	21.8	74.2